

## 地球温暖化対策実施状況報告書

2021年 7月 28日

（報告先）  
横浜市長

住所 神奈川県横浜市西区  
みなとみらい三丁目3番1号

氏名 三菱パワー株式会社  
取締役社長 河相健

（法人の場合は、名称及び代表者の氏名）

横浜市生活環境の保全等に関する条例（以下「条例」という。）第144条第2項の規定により、次のとおり報告します。

### 1 地球温暖化対策事業者等の概要

事業者の氏名又は名称 （代表者の氏名）	三菱パワー株式会社 取締役社長 河相健				
事業者の主たる 事業所の所在地	横浜市西区みなとみらい三丁目3番1号				
主たる事業の業種	大分類	E 製造業			
	中分類	25 はん用機械器具製造業			
該当する 事業者の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 条例施行規則（以下「規則」という。）第89条第1項第1号該当事業者				
	<input type="checkbox"/> 規則第89条第1項第2号該当事業者				
	<input type="checkbox"/> 規則第89条第1項第3号該当事業者				
	<input type="checkbox"/> 地球温暖化対策事業者以外の事業者（任意提出事業者）				
	原油換算エネルギー使用量	1,222	kl	自動車の台数	台

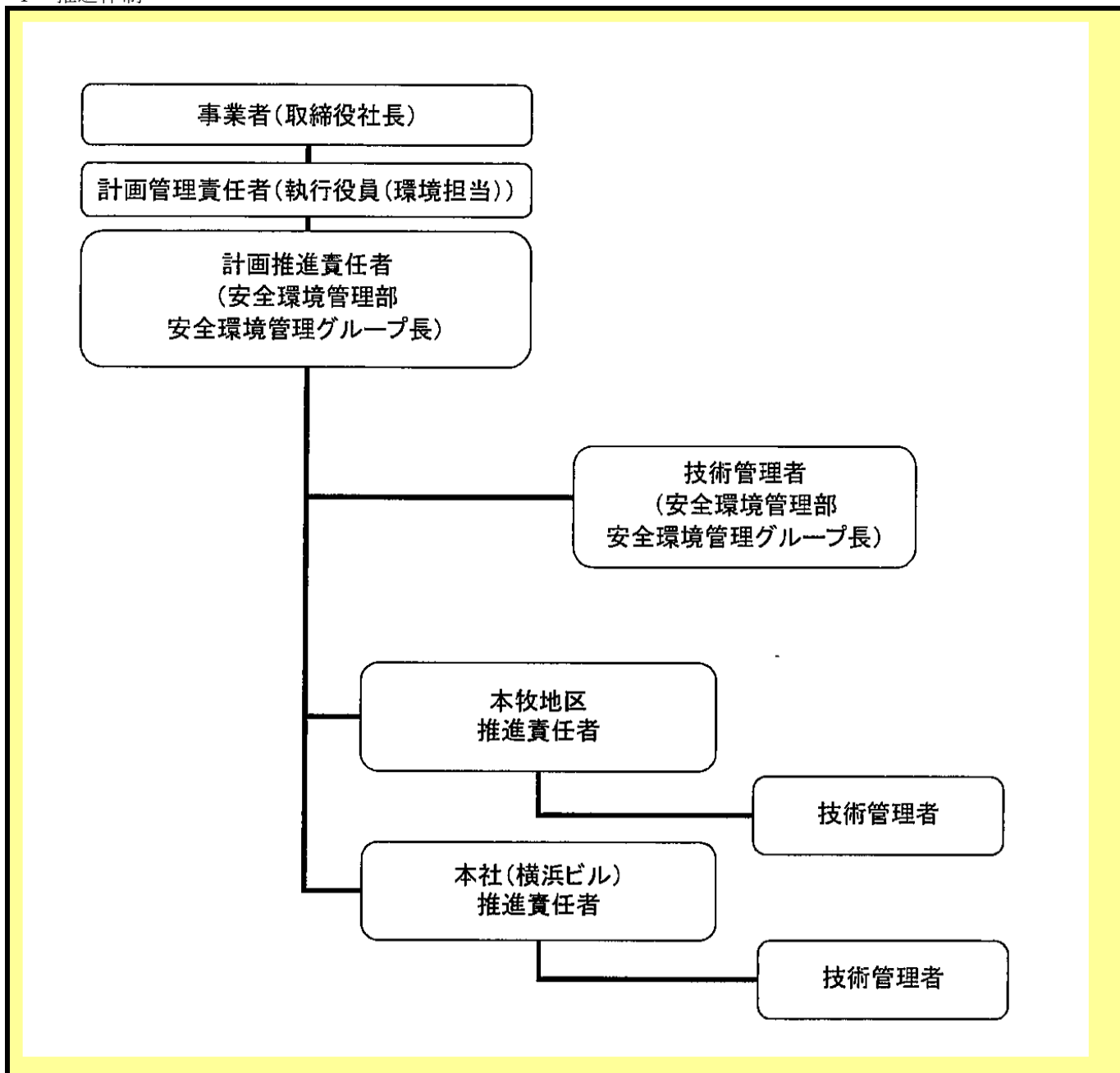
### 2 計画期間及び実施年度

計画期間	2018	年度～	2020	年度	実施年度	2020	年度
------	------	-----	------	----	------	------	----

### 3 温室効果ガスの排出の抑制等を図るための基本方針

<p>[基本方針] 省エネ法のエネルギー使用原単位削減努力目標を達成するべく、行動することを基本方針とする。</p> <p>[主要なエネルギー使用設備の更新等の検討] ①更新の対象となる主要なエネルギー使用設備 現在、本社横浜ビルは他社管理ビルにテナント入居、本牧地区は2018年度以降事業集約により事務所部門のみが残っている状態の為、当社にて管理権限のあるエネルギー使用設備は、照明設備であり、既に高効率照明設備に更新されている事から、新たな設備更新の計画はありません。</p> <p>②上記①の設備を選択した理由</p> <p>③設備更新スケジュール</p>
---

4 推進体制



5 公表の方法等

ホームページ	アドレス	
窓口で閲覧	閲覧場所	三菱重工横浜ビル1階受付
	所在地	横浜市西区みなとみらい三丁目3番1号
	閲覧可能時間	10:00~16:30
冊子	冊子名	
	入手方法	
その他		

細則第38号様式（第2条第49号）  
（総括票）

6の1 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況（第1号及び第2号該当事業者）

基準年度 (2017年度)	基準排出量	7,046 t-CO <sub>2</sub>			基準原単位	t-CO <sub>2</sub> /	
	調整後	6,891 t-CO <sub>2</sub>			目標原単位	t-CO <sub>2</sub> /	
目標年度 (2020年度)	目標排出量	6,835 t-CO <sub>2</sub>	削減率	3.0 %		削減率	%
排出の抑制に係る目標の設定の考え方	省エネ法のエネルギー使用原単位年1%削減努力目標を達成するべく、3年間で削減率3.0%を設定した。						
事業者全体としての目標等	温室効果ガスのうち、CO <sub>2</sub> を第一の排出削減対象ガスとする。前年度比1%削減を目標とする。						
第一年度 (2018年度)	排出量	3,537 t-CO <sub>2</sub>	削減率	49.8 %	排出原単位	t-CO <sub>2</sub> /	
	調整後	3,394 t-CO <sub>2</sub>	削減率	50.7 %		削減率	%
目標等の達成状況及び説明	2018年度の全社的な組織改編に伴い、本牧地区においてガスタービンブレード製造部門が廃止、エネルギーを大量に消費する工場建屋及び製造設備等が休止・撤去されたことにより、エネルギー使用量及びCO <sub>2</sub> 排出量は大きく減少した。						
第二年度 (2019年度)	排出量	2,576 t-CO <sub>2</sub>	削減率	63.4 %	排出原単位	t-CO <sub>2</sub> /	
	調整後	2,441 t-CO <sub>2</sub>	削減率	64.6 %		削減率	%
目標等の達成状況及び説明	昨年度の組織改編に伴い、エネルギー使用設備が休止・撤去されたことにより、エネルギー使用量及びCO <sub>2</sub> 排出量は大きく減少した。						
第三年度 (2020年度)	排出量	2,309 t-CO <sub>2</sub>	削減率	67.2 %	排出原単位	t-CO <sub>2</sub> /	
	調整後	2,140 t-CO <sub>2</sub>	削減率	68.9 %		削減率	%
目標等の達成状況及び説明	クールビズ、ウォームビズ活動及び昼食時、定時後の消灯の継続及びコロナ禍による在宅勤務の推進によってエネルギー排出量の減少に繋がった。						
計画期間全体の排出状況に関する説明	組織改編で製造部門が廃止され、エネルギー使用設備の休止・撤去したことが大幅な排出量減少の大きな要因となった。						

細則第38号様式（第2条第49号）  
（総括票）

6の2 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況（第3号該当事業者）

基準年度 （年度）	基準排出量		t-CO <sub>2</sub>			基準原単位		t-CO <sub>2</sub> /
	調整後		t-CO <sub>2</sub>				t-CO <sub>2</sub> /	
目標年度 （年度）	目標排出量		t-CO <sub>2</sub>	削減率	%	目標原単位	削減率	%
排出の抑制に係る目標の設定の考え方								
事業者全体としての目標等								
第一年度 （年度）	排出量		t-CO <sub>2</sub>	削減率	%	排出原単位	t-CO <sub>2</sub> /	
	調整後		t-CO <sub>2</sub>	削減率	%		削減率	%
目標等の達成状況及び説明								
第二年度 （年度）	排出量		t-CO <sub>2</sub>	削減率	%	排出原単位	t-CO <sub>2</sub> /	
	調整後		t-CO <sub>2</sub>	削減率	%		削減率	%
目標等の達成状況及び説明								
第三年度 （年度）	排出量		t-CO <sub>2</sub>	削減率	%	排出原単位	t-CO <sub>2</sub> /	
	調整後		t-CO <sub>2</sub>	削減率	%		削減率	%
目標等の達成状況及び説明								
計画期間全体の排出状況に関する説明								

細則第38号様式（第2条第49号）  
（総括票）

7 事業所等における温室効果ガスの排出状況

事業所等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO <sub>2</sub> )	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO <sub>2</sub> )	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO <sub>2</sub> )	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO <sub>2</sub> )
3,000k1以上								
1,500k1以上 3,000k1未満	1	5,654						
500k1以上 1,500k1未満	1	1,392	2	3,537	2	2,576	2	2,309
500k1未満								
合計	2	7,046	2	3,537	2	2,576	2	2,309

8 自動車における温室効果ガスの排出状況

自動車の区分	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	台数(台)	排出量の 合計(t-CO <sub>2</sub> )	台数(台)	排出量の 合計(t-CO <sub>2</sub> )	台数(台)	排出量の 合計(t-CO <sub>2</sub> )	台数(台)	排出量の 合計(t-CO <sub>2</sub> )
普通貨物自動車								
小型貨物自動車								
大型バス								
マイクロバス								
乗用自動車								
合計								
低公害かつ低燃費な車の 導入割合(%)		%		%		%		%

細則第38号様式（第2条第49号）  
（総括票）

9の1 重点対策の実施状況（第1号及び第2号該当事業者）

重点対策	実施状況の判断を行う単位	基準年度	第一年度						第二年度						第三年度								
			対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況			
第1号及び第2号該当事業者	1	推進体制の整備	事業者全体(市内分)	実施済	2/2	—	年度		実施済	2/2	—	年度		実施済	2/2	—	年度		実施済	2/2	—	年度	
	2	主要なエネルギー使用設備の更新等の検討	事業者全体(市内分)	実施済	2/2	—	年度		実施済	2/2	—	年度		実施済	2/2	—	年度		実施済	2/2	—	年度	
	3	機器管理台帳の整備	事業者全体(市内分)	実施済	2/2	—	年度		実施済	2/2	—	年度		実施済	2/2	—	年度		実施済	2/2	—	年度	
	4	照明設備の運用管理	事業者全体(市内分)	実施済	2/2	—	年度		実施済	2/2	—	年度		実施済	2/2	—	年度		実施済	2/2	—	年度	
	5	エネルギー使用量の把握	個別票対象事業所	実施済	2/2	—	年度		実施済	2/2	—	年度		実施済	2/2	—	年度		実施済	2/2	—	年度	
	6	各種図面の整備	個別票対象事業所	実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度	
	7	外気導入量の適正管理	個別票対象事業所	非該当	/	—	年度	対象設備(旧フレード工場の空調設備)の稼働機会が無くなったため。	非該当	/	—	年度	対象設備(旧フレード工場の空調設備)の稼働機会が無くなったため。	非該当	/	—	年度	対象設備(旧フレード工場の空調設備)の稼働機会が無くなったため。	非該当	/	—	年度	対象設備(旧フレード工場の空調設備)の稼働機会が無くなったため。
	8	フィルター等の清掃	個別票対象事業所	実施済	2/2	—	年度		実施済	2/2	—	年度		実施済	2/2	—	年度		実施済	2/2	—	年度	
	9	ポンプ、ファン及びブロワーの適正な流量管理	個別票対象事業所	実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度	
	10	変圧器の需要率管理、効率管理	個別票対象事業所	未実施	0/1	—	年度	変圧器の需要率および負荷率の算定実施時期は未定。	未実施	0/1	—	年度	変圧器の需要率および負荷率の算定実施時期は未定。	未実施	0/1	—	年度	変圧器の需要率および負荷率の算定実施時期は未定。	未実施	0/1	—	年度	変圧器の需要率および負荷率の算定実施時期は未定。
	11	室内温度の適正管理	事業所	実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度	
	12	地下駐車場の換気管理	事業所	非該当	/	—	年度	地下駐車場なし。横浜ビルは他社管理。	非該当	/	—	年度	地下駐車場なし。横浜ビルは他社管理。	非該当	/	—	年度	地下駐車場なし。横浜ビルは他社管理。	非該当	/	—	年度	地下駐車場なし。横浜ビルは他社管理。
	13	照明設備の高効率化	事業所	実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度	
	14	事務所機器の待機電力管理	事業所	実施済	2/2	—	年度		実施済	2/2	—	年度		実施済	2/2	—	年度		実施済	2/2	—	年度	
	15	機器性能管理	設備	実施済	3/3	3/3	年度		実施済	3/3	3/3	年度		実施済	3/3	3/3	年度		実施済	3/3	3/3	年度	
	16	冷凍機の冷水出口温度管理	設備	実施済	3/3	3/3	年度		実施済	3/3	3/3	年度		実施済	3/3	3/3	年度		実施済	3/3	3/3	年度	
	17	燃焼設備の空気比管理	設備	非該当	/	/	年度	蒸気ボイラー設置なし	非該当	/	/	年度	蒸気ボイラー設置なし	非該当	/	/	年度	蒸気ボイラー設置なし	非該当	/	/	年度	蒸気ボイラー設置なし
	18	排出ガス温度の管理	設備	非該当	/	/	年度	蒸気ボイラー設置なし	非該当	/	/	年度	蒸気ボイラー設置なし	非該当	/	/	年度	蒸気ボイラー設置なし	非該当	/	/	年度	蒸気ボイラー設置なし
	19	蒸気配管のバルブ等の保温	設備	非該当	/	/	年度	他社管理	非該当	/	/	年度	他社管理	非該当	/	/	年度	他社管理	非該当	/	/	年度	他社管理
	20	工業炉表面の断熱強化	設備	非該当	/	/	年度	平成27年10月より停止	非該当	/	/	年度	平成27年10月より停止	非該当	/	/	年度	平成27年10月より停止	非該当	/	/	年度	平成27年10月より停止
	21	コンプレッサの吐出圧の適正化	設備	実施済	4/4	4/4	年度		実施済	4/4	4/4	年度		実施済	4/4	4/4	年度		実施済	4/4	4/4	年度	
	22	コンプレッサの吸気管理	設備	実施済	4/4	4/4	年度		実施済	4/4	4/4	年度		実施済	4/4	4/4	年度		実施済	4/4	4/4	年度	

9の2 重点対策の実施状況（第3号該当事業者）

重点対策	実施状況の判断を行う単位	基準年度	第一年度						第二年度						第三年度					
			対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況
第3号該当事業者	23	推進体制の整備	事業者全体(市内分)	/	—	年度		/	—	年度		/	—	年度						
	24	自動車の適正な使用管理	事業者全体(市内分)	—	/	年度		—	/	年度		—	/	年度						
	25	エネルギー使用量等に関するデータの管理	事業者全体(市内分)	—	/	年度		—	/	年度		—	/	年度						
	26	エコドライブ推進体制の整備	事業者全体(市内分)	/	—	年度		/	—	年度		/	—	年度						
	27	自動車の適正な維持管理	事業者全体(市内分)	/	—	年度		/	—	年度		/	—	年度						

10 目標対策及び事業者の発意による対策の実施状況

- （注意事項） ・ 対策の効果が重複して計上されない様にご注意ください。  
 ・ 燃料・熱・電気等の使用量は、一年間での値に換算して記入してください。  
 ・ 記載欄が不足する場合は、横浜市へご連絡ください。

		削減量合計 事業者総排出量		事業者総排出量 (t-CO2)		CO2排出量合計① (t-CO2)		CO2排出量合計② (t-CO2)		削減量合計 (t-CO2)					
		0.25 %		2,309		10.4		4.6		6					
連番	具体的な対策	事業所名	対策の実施年度 (西暦)	実施前				実施後				削減量 □(t-CO2)	投資金額		
				実施前の運用状況/設備状況	燃料・熱・電気等の使用量			CO2排出量 (t-CO2)	実施後の運用状況/設備状況	燃料・熱・電気等の使用量				CO2排出量 (t-CO2)	
					種別	使用量	単位			種別	使用量				単位
1	エントランスホールLED更新	横浜ビル	2018	44か所設備容量合計7.35kw	昼間買電	22,050	kWh	10.4	44か所設備容量合計3.27kw	昼間買電	9,810	kWh	4.6	5.8	5,062 千円
															千円
															千円
															千円
															千円

細則第38号様式（第2条第49号）  
（総括票）

11 再生可能エネルギー利用設備等の導入状況

番号	設備機器の種類	導入年度	性能等	備考
1		2010		
2		年度		
3		年度		
4		年度		
5		年度		

12 クレジット等に関する取組状況

番号	種類	年度	オフセット対象範囲	特定温室効果ガス換算量	備考
1	電気の使用	2020年度	横浜市内事業所	169	東京電力エネルギーパートナー
2		年度			
3		年度			
4		年度			
5		年度			

13 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度までの対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>本牧地区の建屋又は設備等の効率的な運用</li> <li>本社（横浜ビル）及び本牧地区でのクールビズ、ウォームビズ活動の実施、並びに、昼食時・定時後の消灯の実施</li> </ul>
計画期間内に実施する対策	上記対策を継続的に実施。
第一年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>本牧地区で事務部門の配置を変更し、建屋の効率的な運用に努めた。</li> <li>本社（横浜ビル）及び本牧地区においてクールビズ、ウォームビズ活動の実施並びに、昼食時・定時後の消灯を実施した。</li> </ul>
第二年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>本牧地区で建屋又は設備等の効率的な運用に努めた。</li> <li>本社（横浜ビル）及び本牧地区においてクールビズ、ウォームビズ活動の実施並びに、昼食時・定時後の消灯を実施した。</li> </ul>
第三年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍等もあり、在宅勤務による出勤率の低減により、電力消費削減に努めた。</li> <li>本社（横浜ビル）及び本牧地区においてクールビズ、ウォームビズ活動の実施並びに、昼食時・定時後の消灯を実施した。</li> </ul>

14 実施状況等に対する自己評価

<p>社内の組織改革や事業改革に伴い、エネルギー使用設備及び工場の集約によって、大きく低減した。</p>
--